

議事要旨

会議名	令和6年度第2回芦屋中央病院評価委員会			会場	芦屋町役場 3階31会議室	
日時	令和6年8月6日(火) 午後2時00分～午後2時50分					
件名・議題	<p>1. 議題</p> <p>(1) 第1回評価委員会議事要旨について</p> <p>(2) 令和5事業年度における業務実績報告書の自己評価に対する意見について</p> <p>2. その他</p> <p>(1) 今後のスケジュール</p>					
委員等の出欠	委員長	村松 圭司	出	オブザーバー (病院)	櫻井 俊弘	出
	副委員長	貞安 孝夫	出	オブザーバー (病院)	森田 幸次	出
	委員	中野 徹	出	オブザーバー (病院)	竹井 安子	出
	委員	松山 みどり	出	オブザーバー (病院)	檜田 房男	出
	委員	吉野 任	出	オブザーバー (病院)	坂本 林太郎	出
	委員	本田 浩	出	オブザーバー (病院)	中野 悟子	出
	事務局	溝上 竜平	出	オブザーバー (病院)	市村 修	出
	事務局	志村 裕子	出	オブザーバー (病院)	室山 雄一	出
	事務局	泉原 香織	出			

【合意・決定事項】

○議題（1）第1回評価委員会議事要旨について

第1回議事録要旨の内容について了承を得た。

○議題（2）令和5事業年度における業務実績報告書の自己評価に対する意見について

令和5事業年度における業務実績報告書の委員会の評価について以下のとおり決定した。

第1-1-（1）、（2）、（3）、（5）、（6）、（7）

委員会の評価は、法人評価と同様とする。

第1-1-（4）救急医療への取組

法人評価Ⅲとしているが、委員会の評価はⅣとする。

第1-2-（1）、（2）、（3）、（4）

委員会の評価は、法人評価と同様とする。

第1-3-（1）、（3）、（4）

委員会の評価は、法人評価と同様とする。

第1-3-（2）患者快適性及び職員の接遇の向上

委員会の評価は、法人評価と同様とする。

ただし、「入院の患者満足度の結果を評価する」ことを意見として追加する。

第1-4

委員会の評価は、法人評価と同様とする。

第2-1

委員会の評価は、法人評価と同様とする。

第2-2-（1）、（2）、（3）、（4）

委員会の評価は、法人評価と同様とする。

第2-2-（5）研修制度の推進

委員会の評価は、法人評価と同様とする。

ただし、「認定看護管理者の修了者が多数いることについて評価する」ことを意見として追加する。

第3-1-（1）、（2）

委員会の評価は、法人評価と同様とする。

第3-1-（3）支出の節減

委員会の評価は、法人評価と同様とする。

ただし、「非常に努力した経営を行っていることについて評価する」ことを意見として追加する。

○その他（1）令和5事業年度における業務の実績に関する意見書（案）について
業務実績報告書に対しての今後の流れについて確認した。

【議事要旨】

○議題（1）第1回評価委員会議事要旨について

（委員長） 第1回評価委員会議事要旨について、事実と異なる点などがあれば指摘をいただきたい。

（委員） 指摘なし。

（委員長） では、第1回評価委員会の議事要旨については、このとおりとし、後日町のホームページに公開していただきたい。

○議題（2）令和5事業年度における業務実績報告書の自己評価に対する意見について

事務局から、業務実績報告書の病院評価と委員評価に相違がある7項目について説明（コメントを紹介）。

（委員長） では、委員会の評価として取りまとめを行う。法人評価と委員全員の評価が一致しているものについては、ある程度簡素に進めていけたらと思う。

まず、1ページから2ページの第1-1医療サービスの7項目を審議したいが、(4)救急医療への取組を除いては、法人評価と委員全員の評価が一致しており、コメントにも説明を求める内容もないため、この6項目はこのとおりの評価でいいか。

（委員） 異議なし。

（委員長） では、第1-1-(4)救急医療への取組において、法人評価Ⅲに対し、委員評価がⅢの方とⅣの方がいる。意見はあるか。

（委員長） 具体的な数値目標や指標は特段ないが、判断基準においてⅢは「計画より下回ったが、支障や問題とならないレベル」、Ⅳは「計画どおり又はそれ以上に達成している」というものになる。数値目標がない部分については、前年と比較してどうか指標となる。救急車の受け入れ件数が1.2倍。時間外患者の受け入れ件数は33%増となっているので、そのあたりをどう評価するかということになる。

（委員） 働いている人の意欲を考えると、評価がⅣとなる方が今後の勤労意欲が向上すると思う。

(委員長) 今回をⅢとすると、どのような状態であればⅣになるのかと思う。例えば、来年度に件数が少し下がったとしても、地域医療に影響がなければⅢとなるのではないかと思う。

(委員) 私は基本的に数値目標がない場合、評価をしている人の主観を大事にしているため、法人評価と変わらず評価している部分が多い。数値が自己評価のところにあがっているが、年度によって数値にばらつきがあるのであれば、Ⅲでよいと思い評価した。

(委員長) 法人の自己評価は毎年厳しい。前年比 1.2 倍をⅣと評価しなければ、どのような状態の時にⅣとなるのかがわからない。みなさん、ⅢでもⅣでもいいということであれば、救急車受け入れ件数の 1.2 倍を評価するために、委員会評価はⅣとしたいが、反対意見はあるか。

(委員) 意見なし。

(委員長) では、第 1-1- (4) 救急医療への取組は、法人評価はⅢだが、委員会評価はⅣとする。

次に、第 1-2 医療の質の向上について (1)、(2)、(4) は、法人評価と委員評価が一致しており、コメントにも説明を求める内容もないため、この 3 項目はこのとおりの評価でいいか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第 1-2- (3) 計画的な医療機器等の整備について、法人評価Ⅳに対し、委員評価がⅣの方とⅤの方がいる。意見はあるか。

(委員) 意見なし。

(委員長) 判断基準では「計画を大幅に上回るレベル」というのが、Ⅴという評価となる。この項目には特段数値目標はないので、機器等の購入において大幅に安価に購入できたのであればⅤとなるのかもしれないが、そういう内容ではないので「計画どおり又はそれ以上に達成している」という、法人評価と同様のⅣでいいと考えるがいかがか。

(委員) 異議なし。

(委員長) では、第 1-2- (3) 計画的な医療機器等の整備は、委員会評価をⅣとする。次に第 1-3 患者サービスの向上と 4 法令遵守と情報公開では、第 1-3- (1)、(4)、4 法令遵守と情報公開では、法人評価と委員評価が一致しているため、このとおりの評価でいいか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第 1-3- (2) 患者快適性及び職員の接遇の向上については、法人評価Ⅲに対し、委員の評価がⅢの方とⅣの方がいる。意見はあるか。

(委員) 法人評価の理由の部分に、「外来患者満足度は計画をやや下回る結果となった」と記載があるので、Ⅲと評価した。

(委員長) 外来患者満足度は、計画よりマイナス 0.1 点。入院患者満足度は、計画よりプラス 1.3 点となっている。コメントの二つ目にあるように、「本来病院は、入院機能の充実が求められており、その入院患者満足度が非常に高いということは評価されるべきである」ということは、そのとおりだと感じる。

(委員) 5 年度の計画と比較すると外来患者満足度がマイナスとなっているが、4 年度の実績と比較すると上がっている。入院患者満足度は明らかに上がっているのでⅣと評価した。

(委員長) 評価Ⅲの判断基準は「計画より下回ったが、支障や問題とならないレベル」、Ⅳは「計画どおり又はそれ以上に達成している」であり、先ほどの救急医療の取組と比較すると、外来の部分が評価できないことを考えると、入院患者満足度が非常に高いことをコメントに加えたうえで、委員会評価をⅢとしたいと考えるがいかがか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第 1-3- (3) 総合相談窓口業務の充実については、法人評価Ⅲに対し、委員の評価がⅢの方とⅣの方がいる。令和 5 年度の実績と令和 4 年度の実績はほぼ変わらないが、第 3 期中期計画では、数値目標を見直し、かなり高く設定している。計画と比較すると、下回ったということでⅢという評価であるが、件数が多いものの計画を下回ったということで、評価が分かれているようである。意見はあるか。

(委員) 総合相談窓口という業務が充実し、安定化してきていると思う。数は計画を下回っており、次年度のことを考えるとⅣにあげるよりは、高いレベルで安定してきたと評価し、Ⅲでいいと思う。

(委員長) 第2期中期計画の間に相談件数を伸ばして、安定していった。今後も維持していくべきと思うので、進捗の度合いで判断し、「計画をおおむね順調に実施している」ということであれば、委員会評価も法人評価と同様のⅢでいいと考えるがいかがか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第2業務運営の改善及び効率化に関する事項では、第2-1法人運営管理体制の確立と第2-2業務運営の改善と効率化(1)、(3)、(4)については、法人評価と委員評価がすべて一致しているので、このとおりの評価でいいか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第2-2(2)人事考課制度の適切な運用では、法人評価Ⅲに対し、委員評価がⅢの方とⅣの方がいる。意見はあるか。

(委員) 病院長面談を実施しているということの評価してⅣとしたが、新人事制度の中で人事考課制度のみを策定し、令和6年度に持ち越したという課題も記載しているので、Ⅲでもいいと思う。

(委員長) 委員の言うとおりに、非常に意欲的な取り組みをしていると感じる。一部、来年度に持ち越していたり、運用できていない部分もあるということから、全体的な評価としてはⅢでいいと考えるがいかがか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第2-2-(5)研修制度の推進では、法人評価Ⅲに対し、委員評価がⅢの方とⅣの方がいる。

また、コメントの中で「総合判断に至った具体的な事例を示して欲しい。」とあるので、説明を求める。

(病院) 新人事制度により、職員のレベルを等級ごとに分け、階層が再構成された。

このため、階層別研修の計画ができなかったという点を鑑み、Ⅲという評価にした。

(委員長) 人事制度が変更となったため、研修制度の準備が間に合わず、計画より下回ったということである。本来は、研修制度も間に合わせる予定だったのか。

(病 院) 研修制度については、新人事制度に沿って研修を組み立てていくという予定となっていたが、できなかった。当院の研修は、量的に若干足りないため、改革をしていくべきと思っている。研修を各部署にバランスよく配分することは難しいが、今後は配分も考えつつ、新人事制度の仕組みを活用しながら職員の不満がないよう、研修制度を構築していきたいと考えている。

(委員長) 今の病院の説明を踏まえ、委員会の評価をどうするか検討するが、意見はあるか。

(委 員) 病院の規模としては小さいが、小さい中にもクオリティの高い診療や認定看護管理者を受講しようという風土は優れている。大学病院のように多くの診療科があり、スペシャリストがいて、同じような研修制度がないためにⅢという評価となったこととは違う。スケールは小さい中でも、努力によりクオリティの高い診療、教育や研修ができていたので、Ⅳと評価した。

(委員長) 大学病院でも特定機能病院という理由で、やや形骸的な研修もある。それよりも中身のある研修を実施するほうが大事だと思っている。

階層ごとの研修制度の準備が間に合わなかったということは、確かにⅣの進捗の度合いの「計画を上回っている」とは言いがたいので、委員会の評価としてはⅢとしたいと考える。

ただし、下回っているというのは研修計画の準備のことだけであり、認定看護管理者の修了者が多数いることは、委員会としても高い評価をすることをコメントとして付け加えたいがいかがか。

(委 員) 異議なし。

(委員長) では、第 2-2- (5) 研修制度の推進は、委員会評価も法人評価と同様のⅢとする。

次に、第 3 財政内容の改善に関する事項では、第 3-1 持続可能な経営基盤の確立において、(1) と (2) は、法人評価と委員評価が一致しているので、

このとおりの評価でいいか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第3-1(3)支出の節減については、法人評価Ⅳに対して、委員評価がⅣの方とⅤの方がいる。意見はあるか。

(委員) 令和5年度だけを見ると、支出が非常に削減されておりよいと思うが、現在の経済環境等を鑑みると、後々影響がでてくるものもあり、今後が不透明という懸念もある。今回いい評価をつけたとして、翌年度にいろいろと高騰したときにどういうふうに影響するのかということも考えた。

また、人件費は他の部分とも絡むのであくまでも参考程度にしたいが、人手不足の関係で人件費が減ったからいいと評価するのか、財政面だけを見て一概にいいとは評価できない。

会計士的にみると損益で判断するが、公立病院で公共のサービスという観点では、どこに判断ラインをもっていくか考えた際、支出を節減しつつもどこまで許容ができるのかということ、今後評価したいということも踏まえ、Ⅳと評価した。

(委員長) 同じ医療機関の管理者として意見はあるか。

(委員) 材料費は、あまり低すぎるとクオリティが落ちる。30%くらいの材料費、40%代の人件費がベストだと言われている。

自治体病院のうち、補助金なしで経営しているところは、おそらく約800病院中8病院くらいしかないと思う。収入の10%程度が交付金の平均だが、芦屋町も収入の10%代の平均的な交付金しかもらっていない中、支出を抑え優秀な経営がされていることを評価した。

(委員長) 自治体病院の経営という観点から見ると、Ⅴという評価でいいと思うが、(1)と(2)はコロナの補助金がない中、収益が非常に改善しているということで、Ⅴという高い評価になっている。支出については、「計画は上回っている」という進捗の度合いで判断し、委員会としてはⅣと評価したいと考えるがいかか。

(委員) 異議なし。

(委員長) ただし、自治体病院の中で非常に努力した経営を行っているということについて、コメントに付け加えたい。

以上ですべての項目について検討した。第 1-1- (4) 救急医療への取組については、委員会評価がⅣとなり、法人評価と異なった。他はすべて、委員会評価と法人評価が同様となった。

令和 5 事業年度における事業実績に関する評価としては、このようにしたいと思うがいかがか。

(委 員) 異議なし。

○その他 今後のスケジュールについて

事務局から令和 5 事業年度における業務実績に関する意見書(案)の今後の流れについて説明を行った。

(委員長) 質問はないか。

(委 員) 質疑なし。

(委員長) では、本日の委員会は終了する。

(閉 会)